

部会報1 (1973-1) を発行して以後、2回にわたり、幹事会が開催された(第1回, 3月31日, 大阪; 第2回, 5月11日, 東京)。その席上で報告され、また討議されたことの大要は次のとおりである。

1. 1980年度IADR年次総会の日本招致について

1972年度日本部会総会決議により、河村、大西両幹事は、IADR 1980年総会を日本に招致する意志表明の要務を帯び第51回年次総会(Washington, D. C., 4月10~15日)に出席した。しかし、本部理事会において、1977年度総会をLas Vegasで開催することを決定すると共に、5年毎に北米以外で総会を持つ従来の申し合せを改訂し、1978年以後は、International Relations Committeeで開催国および場所を協議し、理事会で審議するように、招致手続きが変更されたため、理事会での公式の意志表明はこれを保留した。なお、次善の策として International Relations CommitteeのChairmanである南アフリカ選出理事Dr. M. Shearに河村部会長から、口頭で日本部会の招致意志を一応伝達した。日本招致が公式に決定されるまでには、上記Committeeと日本部会との間に、尚数度にわたる事務折衝が必要となる見込みである。

2. 新会員の募集について

新会員の受け入れについては、事務局において鋭意準備中であったが、今回ようやく、書類その他の整備が終り、幹事会の了承を得ることができた。入会手続きは、Constitution III-2により会員2名の推薦によるので、推薦を希望される方は書類その他を事務局に請求されたい。

3. 日本部会 Bylaw について

かねて、事務局立案の Bylaw については、幹事会においてほぼ検討を終った。近く、本案を全会員に配布し、賛否を問う予定である。

4. 第 21 回日本部会総会について

下の通り開催する予定である。

期 日 昭和 48 年 12 月 3, 4 日 (月, 火)

場 所 兵庫県宝塚市

宝塚ホテル

宿泊のための部屋を確保するため、近日中に出欠、演題提出の有無、宝塚ホテル宿泊希望の有無につき予備調査を行なう予定です。御協力をお願い申し上げます。

5. 日本部会 President-Elect の選出について

幹事会推薦の候補者一名並びに、これ以外の候補者一名の記入できる欄をもうけたアンケート用紙を全会員に送付し、投票することに決定した。尚、最終決定は Constitution VII - 1 - A により日本部会総会にて行なう。

6. 第 6 回 ICOB (1974) 開催について

同封書状の通り、Toronto で開かれるが、出席希望者は各自で手続きを取らねたい。

7. 1971, 1972 年度会計報告について

引き継ぎ事務の遅滞により報告書作成が延引していたが、今回下の如く集計され、幹事会の承認を受けることができた。

IADR 日本部会会計報告

46年度 (46/1/1 ~ 12/31)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越し	73,204	通信郵送費	15,894
年度会費	49,000	文 具	12,205
総会当日会費	54,000	ひょうし木	4,000
総会懇親会費	36,000	総会懇親会	53,000
総会抄録売上	10,600	総会人件費	6,250
計	222,804	計	91,349
残 高	131,455		

47年度 (47/1/1 ~ 12/31)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越し	131,455	通信郵送費	18,169
年度会費	27,500	文 具	3,145
寄 付 金	200,000	印 刷 費	59,080
総会当日会費	113,000	総会送迎の交通費	41,694
宿泊, 懇親会費	303,460	総 会 費	549,200
		プロジェクターランプ	2,340
計	775,415	計	673,628
残 高	101,787		

昭和48年5月21日

IADR 日本部会

会 長 河 村 洋 二 郎

事務局長 田 熊 庄 三 郎